

ストレスガード製剤予防散布プログラムのポイント2

プロテクメートWDGの役割とは？

予防散布殺菌剤5つのポイント

- ✓ 耐性発達のリスクは高くないか？
- ✓ ローテーション散布に組み入れやすいか？
- ✓ 効果、安全性は？
- ✓ 作業性は？
- ✓ 低水量散布できる？

ストレスガード製剤予防散布プログラムの相棒「プロテクメートWDG」

プロテクメートWDG

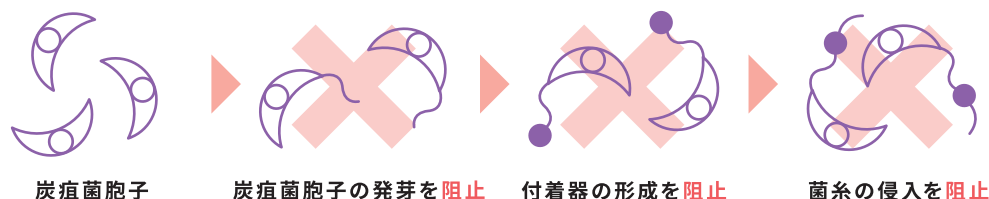
- ✓ 予防散布で3病害をブロック
(藻類、炭疽、ビシウム)
- ✓ 多作用点阻害で耐性リスク低
- ✓ 盛夏でも高い安全性*
*朝夕の散布を推奨します。
- ✓ 使いやすい顆粒水和剤で、
水量100mL/m²に対応

予防散布例(関東地方南部を想定)

薬剤			
4月			
5月	中旬	ミラージュ(0.5)	プロテクメート(1)
	下旬	シグネチャー(1)	TPN
6月	上旬	プロテクメート(1)	TPN
	中旬	インターフェース(1)	
7月	下旬	シグネチャー(1)	TPN
	上旬	シグネチャー(1)	TPN
8月	中旬	ミラージュ(0.5)	ビシウム剤(ローバー)
	下旬	シグネチャー(1)	
9月	上旬	シグネチャー(1)	ビシウム剤 (フェニルアミド)
	中旬	プロテクメート(1)	
10月	下旬	シグネチャー(1)	ビシウム剤 (テトラゾリルオキシム)
	上旬		TPN
11月	中旬	プロテクメート(1)	TPN
	下旬		

()内は1m²当たりの薬量を示す

炭疽菌に対する プロテクメートの 作用点



プロテクメートは付着器形成阻害効果を示す、数少ない剤です



薬剤(通常薬量)	形成阻害	DMI剤A,B,C,D,E	×
プロテクメート	○	SDHI剤A,B,C,D,E,F	×
TPN剤A	○	Qol剤A,B,C,D	×
銅剤A,B	○	抗生物質A	×
多作用点阻害剤B,C	×	DCI剤A,B	×

(社内シャーレ試験より)

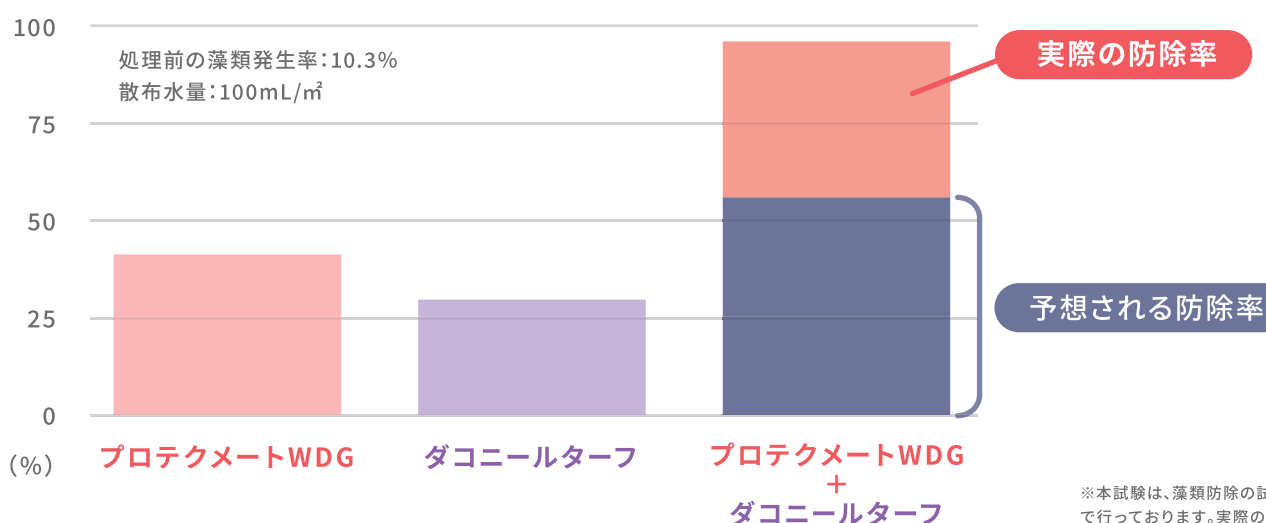
プロテクトWGDは特許取得しました！

特許番号：第6292980号(2018年2月23日登録)

発明の名称：藻類の予防的または治療防除方法並びにそれに使用する防除剤

プロテクトWGD1g/m²とダコニールターフ1mL/m²を
混合散布することにより藻類に対して相乗効果が認められました。

防除率（散布17日後）



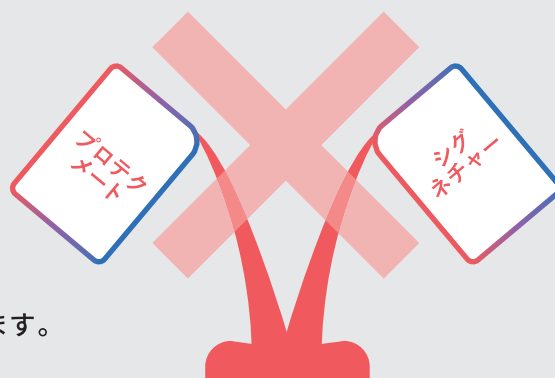
※ダコニールターフは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

※本試験は、藻類防除の試験研究目的で行っております。実際の使用時にはラベル内容を確認してください

混用禁止に注意！！

シグネチャーWGDと プロテクトWGDの混用NG

2つの薬剤は、混用してしまうことで
有効成分が分解、効果薬害に悪影響を及ぼす可能性があります。



芝用 殺菌剤

プロテクトWGD

アルカリ性または強酸性の薬剤や資材とは混用しないで下さい。
有効成分が分解し、効果薬害に悪影響を及ぼす可能性があります。
シグネチャーWGDは強酸性ですので、プロテクトWGDと混用しないで下さい。

芝用 殺菌剤

シグネチャーWGD

強酸性の薬剤(pH3.5、1%懸濁液)です。
他剤と混用する場合、沈殿または凝集を生じることがありますので、
他剤を所定濃度に希釈し十分に攪拌・懸濁させた後、
本剤を最後に加えて下さい。